会報

2013-14 井田 Vol. 22
2013 / 12 / 19

つくば学園ロータリークラブ

TSUKUBA GAKUEN ROTARY CLUB DISTRICT 2820 R.I.

It is the 28th year since 1986

12月19日（木）例会報告、12月24日（火）クリスパスパーティー

Index

会長点鐘／幹事報告／新入会員入会式／招待卓話:臓器移植・臓器提供／
ニコニコBOX／その他／クリスマスパーティー

会長点鐘・幹事報告

井田 充夫 会長　　鯨井 規功 幹事

幹事報告をさせていただきます。休会の連絡が2件はいっております。

土浦ロータリークラブ、つくばサンライズロータリークラブで、メイクをお考えの方は、事務局にお問い合わせください。

新入会員入会式　木沢　藤房会員

只今紹介を頂きました、木沢藤房と申します。桂不動産に勤めております。入社以来25年間、営業として業務に取り組んできました。現在51歳です。以前よりつくば学園ロータリークラブの下村さんからクラブへの入会の誘いを受けていました。この度、社会に貢献する良い機会になればと思い入会を希望したところ、野堀さんの承諾も得る事ができ、晴れてロータリークラブの一員になることができました。ロータリーの事は右も左も分かりませんが、皆様のご指導を仰ぎながら取り組んでいこうと思っております。よろしくお願い致します。

招待卓話：腎バンクとは。日本の臓器移植の現状

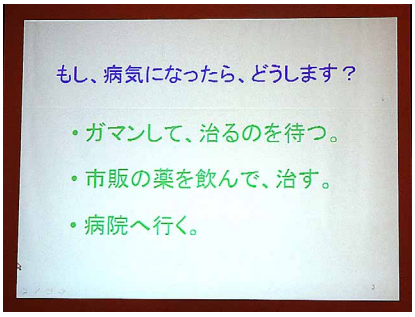
筑波大学消化器外科教授　財団いばらき腎バンク理事長　大河内 信弘 様

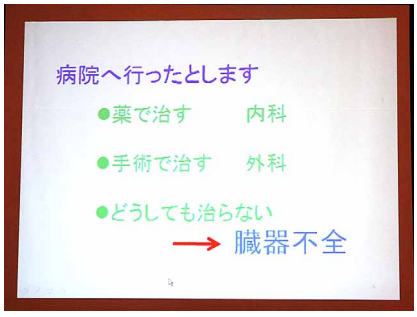
本日はこのようなお時間を頂きまして、井田会長をはじめ、ロータリークラブの皆様に厚く御礼申し上げます。只今ご紹介にあずかりました大河内です。本日は、腎バンクとはどういうものか、また日本の臓器移植の現状についてお話します。最後に、いばらき腎バンクの村上より皆様へ、お願いを申し上げます。

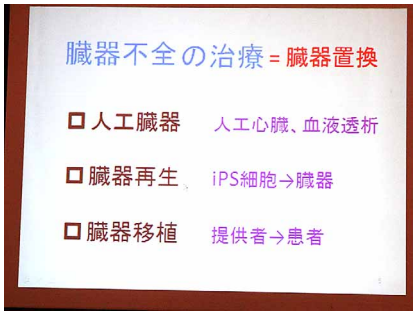
腎バンクという言葉は、皆様もご存知だと思います。この言葉から、腎臓を集めて取っておく事を連想される方もいらっしゃるかもしれませんがそうではなく、臓器移植を行う為に、腎臓を提供される方と移植される方の仲人役を行っています。臓器移植、臓器提供そして、日本を取り巻く現状、について申し上げます。

もし、ここにいらっしゃる方がご病気になったとしたら、どうされますか？

井田会長「すぐに病院にいきます。」しかし、厚生労働省は病気になったからといって、すぐに病院に行く事を勧めていません。現在、医療費がどんどん膨らんで日本の財政を圧迫しています。国はこれから10年の間に毎年一兆円ずつ医療費を減らす計画です。「病気が自然に治るのを待つか、市販の薬を飲んでそれでも治らないときに病院に行っ







て下さい」というのが厚生労働省の考え方です。

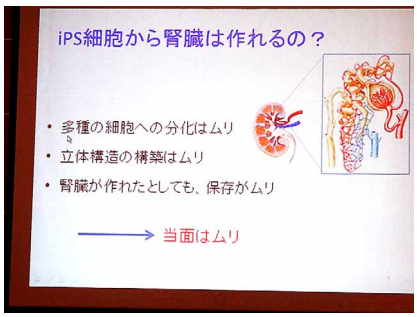
病院で検査をして見つかった病気を薬で治すのが内科です。薬で治す事ができない病気を、手術をして治すのが外科です。しかし薬も効かず、手術もできず、どうしても治らない状態があります。例えば心不全や呼吸不全、肝不全、腎不全、などの臓器不全です。

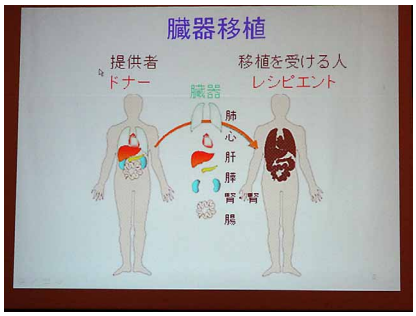
この臓器不全を治す方法として、まず臓器を置き換える方法があります。1960年代から、様々な研究がされて人工の臓器、人工心臓などが患者に使われています。人工心臓で1年間くらい生きることができます。それから一番、多く使われているのが人工透析、腎臓不全に対する血液浄化療法です。

再生医療は2006年に山中伸弥先生がIPS細胞でノーベル賞をもらいました。皆これを使えば臓器を作れるのではないかと期待したのですが、残念ながらこのIPS細胞から臓器が作られるまでに50年以上の時間がかかることがわかりました。よってIPS細胞からはすぐには臓器が作れないと判断されました。

先ほど例に挙げた人工心臓については、1年で人工血管が詰まってしまうので、長く使えないという問題があります。また握り拳ぐらいの大きさの機械を皮下に植え込む必要があります。一番多く行われているのが、人工心臓、血液透析です。　人工透析をする患者さんは、ベッドで1回4時間、週3回透析を受ける必要があります。以前より人工肝臓を作る計画がありました。しかし装置が大きくなって、体重60キロの人の肝臓を人工的に作るとすると、6畳一間くらいの機械が必要になります。現実的ではないので、人工肝臓の研究は今はされていません。

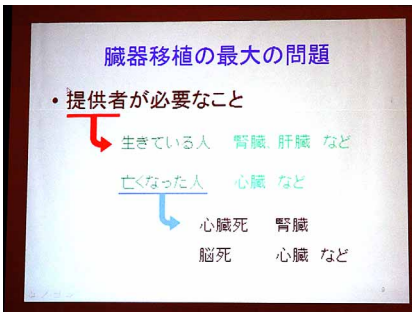
IPS細胞は一つの方向へ、細胞を分化させる事はできるが、様々な器官の細胞に分化させる事はできません。筋肉や皮膚であれば可能です。また平坦な形には作れるが、立体を作る事はできません。もし、腎臓をつくることができたとしても、この作った物をどのように保存するかという問題があります。今の技術ではできない事が多くあります。50

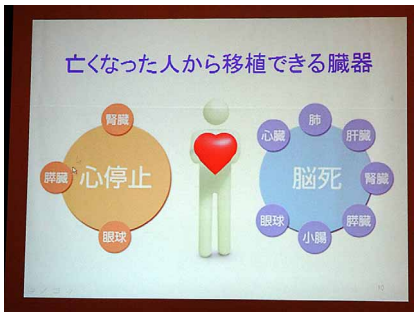


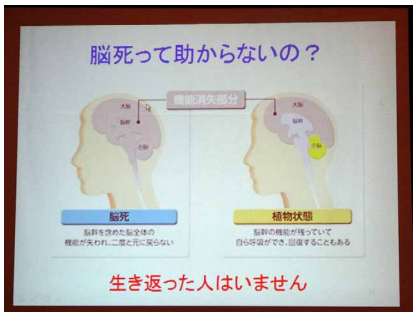


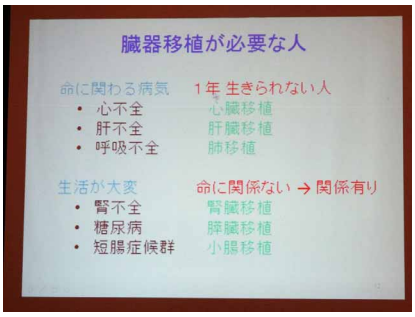
年後、技術がどこまで進歩しているかについては、今後報告していきたいと思います。

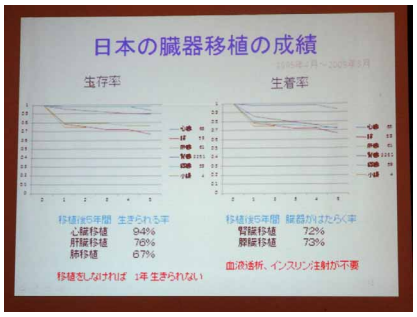
今日のテーマである臓器移植についてですが、臓器移植は、ドナーという臓器の提供者と、移植を受ける人がいて成り立ちます。可能な臓器としては、肺、心臓、腎臓、肝臓、膵臓、腸、骨、皮膚、眼球、角膜、様々あります。肝臓は見かけ上では一つですが実は2つに分けられます。よって腎臓と同じく、生体移植ができます。亡くなった人からしかもらう事ができない臓器には心臓があります。人が死ぬという定義として、心臓が止まる、これは今までのカルテによる死です。その他に臓器移植を前提とした場合、脳死という状態があります。亡くなった人から移植できる臓器としては、心停止の場合は腎臓、膵臓、眼球です。脳死という状態から移植できるのは、心臓、肺肝臓、小腸です。脳死の場合は、多くの臓器が提供できます。

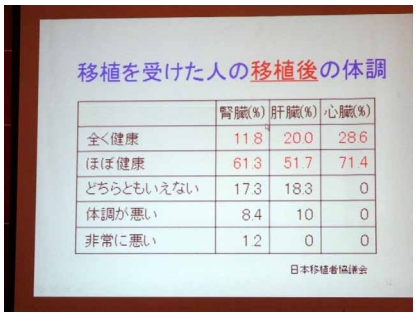












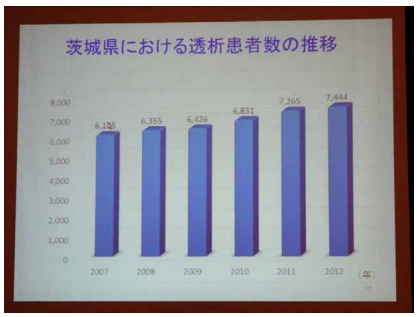
	腎臓(%)	肝臓(%)	心臓(%)
全く健康	11.8	20.0	28.6
ほぼ健康	61.3	51.7	71.4
どちらともいえない	17.3	18.3	0
体調が悪い	8.4	10	0
非常に悪い	1.2	0	0

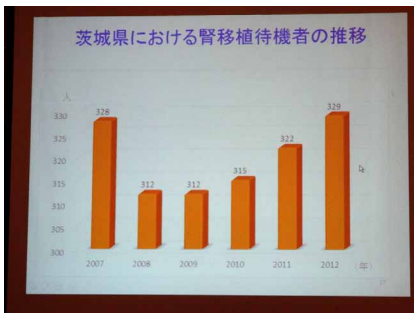
脳死は、国によって違いますが、日本では小脳・脳幹・大脳等の脳の部位全てが壊れてしまっていて治らない状態を脳死と言います。植物状態とは違います。植物状態は脳幹が生きているので自分で呼吸ができます。ですから呼吸をしている内に稀に意識を回復する場合があります。しかし脳死の場合は、回復した例はありません。臓器移植が必要な人、命に関わる病気で、1年生きられない方、心不全、肝不全、呼吸不全を患う方が、移植を受けられます。命には関わらないが生活が大変であるという場合、腎不全の場合は移

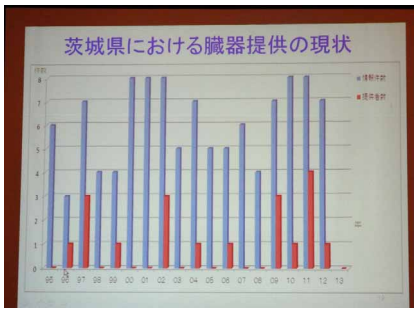
植をおすすめします。腎不全は命に関わらないわけではなく、病状が進むと、様々な症状が現れます。膵臓、小腸もそうです。臓器移植をした場合の5年生存率は、心臓移植で94%、肝臓移植は約80%、肺は約70%です。臓器移植を受けた事で多くの人が社会復帰をされています。腎移植・膵臓移植に関しては、ちょっと考え方が違います。移植した臓器が働く率があります。腎移植・膵移植の場合は7割です。患者に取ってはメリットが大きい治療です。移植手術をうけた患者は、ほぼ7～8割で社会復帰をされています。

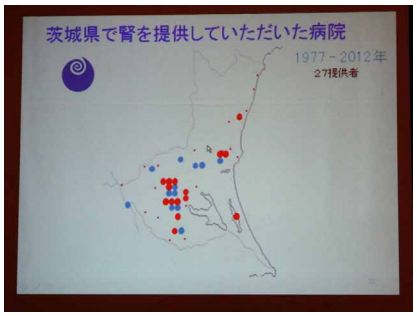
茨城県では、腎移植が適用となる腎不全で透析を受けている患者は、年々増加にあります。現在7400人です。我々は、患者を増やさないようにすることも大事ですが、できれば腎移植を受けさせてあげたいと考えています。茨城県には腎移植を待っている患者が約300人います。1977年に筑波大ができてから、今までに270名が実際に移植を受けられました。病院は、水戸医療センター、筑波大学病院、の2カ所です。臓器の提供者数は、過去に8件しかありません。今年は0件です。茨城県は移植に関しては、かなり遅れた県です。

日本全体に見ますと心臓の移植希望者は、今までに560人、移植できた方は126人です。受けられずに亡くなった方は176人いました。全ての希望者が受けられる医療ではありません。提供者が少ないからです。肝臓は一部は生体になります。腎臓も生体になっていきます。亡くなられた方からの臓器移植は、進んでいないのが現状です。1997年に議



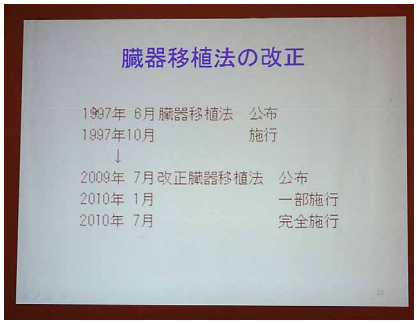


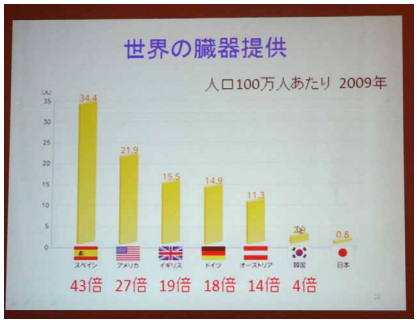




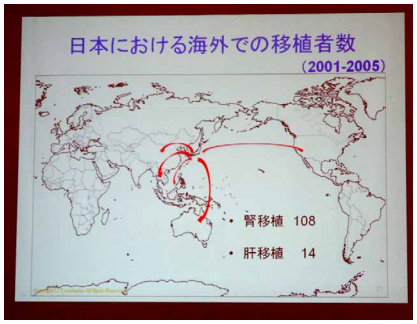
員立法として臓器移植法が成立しました。しかし残念ながらこの法律は、15歳以下の提供は認められず、提供側に本人の意思表示が必要でした。これでは移植が進まないので2009年に家族の同意があれば15歳以下でも臓器の提供が可能という形に改正されました。2009年に臓器移植法が改正になると、脳死からの提供が増えました。2012～13年には、だいたい30人から40人の提供がありました。それでも茨城県からの提供者は少ないのが現状です。

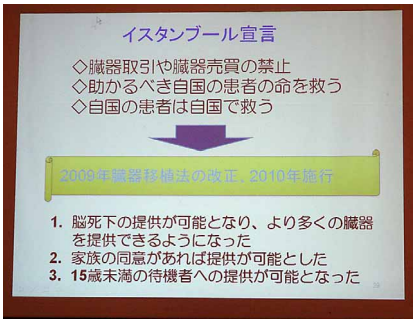
人口100万人あたりの提供者数を世界的に見ると日本は0.8人、韓国は2.9人です。世界で一番進んでいる臓器の提供国はスペインで、日本の43倍です。スペインの仕組みは、救急車に人口の心肺を繋げるような道具が装備されていて、救急者に乗った患者は、ノーと言わない限り全員が提供者になります。スペインの臓器移植医療の始まりは、日本より後ですが、医療費が安い臓器移植を国が奨励しています。





中国にお金を払って腎移植を受けにいかれた患者がいました。この方は実際に提供者に会ってお金を払って移植を受けました。昔、インドのカースト制度での身分の低い人が、お金を得る為に自分の体を売るという事がありました。臓器を売ることは、中国では今も

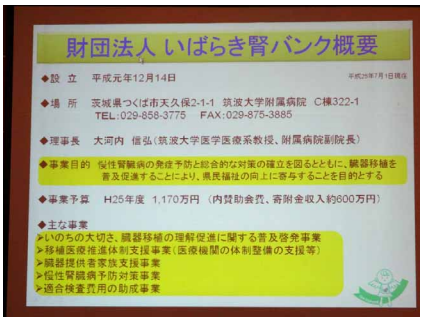


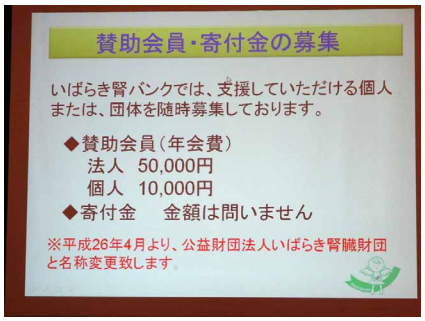


行われています。中国に臓器移植の仕事を斡旋している日本の業者が摘発されたこともあります。臓器売買の問題が世界各国でとりあげられ話し合われました。臓器の売買を防ぐため2009年に日本の臓器移植法が改正されました。

いばらき腎バンクについて

平成元年に、4億円のお金を集めて、茨城県が、出資法人として作った団体です。慢性腎臓病の発症予防と臓器移植の普及、臓器移植をする病院間の間接的な事務手続き等の仕事をしています。4億円の利息だけで運営されているので、平成25年度の事業費は1170万円です。半分以上は賛助金・寄付金をお願いしてまかなっております。事業としては、臓器移植の理解と促進・小中学生を対象に命の大切さを教える授業・臓器提供者の家族支援・それから慢性腎不全の予防・食事や生活習慣に関する市民講座等、を行っております。現在、いばらき腎バンクは厳しい状況で運営をしております。腎バンクの活動をご支援していただけますよう皆様にお願いし、私の講演を終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。





賛助・寄付のお願い　(財)いばらき腎バンク 理事兼事務局長　村上 滋子 様

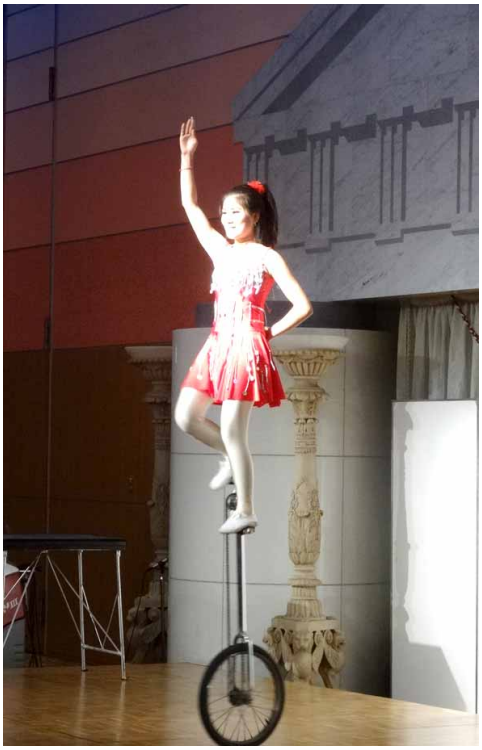
財団を運営するにあたり事業予算が少なく厳しい状況です。より良い事業活動を行っていきたいと思っております。皆さまからの御支援をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

12月19日 会場スナップ

12月 誕生祝 おめでとうございます。

8日　山本敏博　会員
15日　鈴木敏雄　会員
21日　齊藤修一　会員
24日　高畠克友　会員

12月24日　会場スナップ



12月 19日(木)　ニコニコＢＯＸ

本日は 9名のニコニコでした。
御協力いただきありがとうございました。

中野　勝　SAA委員長

本日の合計	￥117,014ー
本年度累計	￥725,249ー

磯山 正蔵	臓器移植、お話有難うございました。私は、残り5つありますが、誰にもあげず大事に使いたいものです。人生健康第一をモットーに！
井田 充夫	木沢さん、入会有難うございます。 大河内教授、村上様卓話有難うございました。今年もクリスマスで、終わりと思っていましたが、中国珠海に下がった売上の激励に行ってきます。
大野 治夫	先日始めて、フライフィッシングをやりました。3匹ゲット！しました。 上野・野澤・小城さんありがとうございました。 ＊帰ってからのお酒も美味しかったです。
篠崎 忠志	今年で2回目のニコニコです。奮発しました。
下村　正	新入会員の木沢さんを宜しくお願いします。会員増強委員長としてはうれしい限りです。
高畠 克友	12月は、我が家の一大イベントの月です。私が24日生まれ、家内が25日と盆と正月が一緒に来たようです。 クリスマスは、私にとって余り良い思いではなく、小さい頃は、誕生日とX'masと一緒ですからケーキは一つ、大人になっても家内にプレゼントをせまがれるだけです。
路川 淳一	大野さんの、大忘年会お世話になりました。くじでワインが当たりました。
山本 敏博	本日は、誕生祝を有難うございました。
野掘 喜作	前年度は大変お世話になりました。

12 月 19日(木)　出席報告

本日の御客様

・(財)いばらき腎バンク　筑波大学消化器外科教授　大河内信弘　様
　〃　常勤役員兼事務局長　村上　滋子　様
・米山奨学生　ファムターンソン　様

無断欠勤ゼロ、出席率向上を目指して

会員数	出席数	欠席数	内無断欠席数	出席免除	メイクゲスト	出席率
69名	49名	20名	3名	2名	3名	77.61%＊

＊ 出席率は暫定値

中野　勝　SAA委員長

プログラム予告 ・12月・地区関係・ローターアクト

1月	2日	休会　定款細則第6条第1節	
1月	9日	理事会　理事、P委員長　親睦委員長	11:00～
1月	9日	例会　会長年頭挨拶　年男の挨拶（大木会員・下村会員・細田会員）	12:30～
		会員・奥様誕生、結婚祝　12月ニコニコ大賞	
1月	16日	移動例会　「新年会」　筑波山江戸屋　◎スケジュールは後日	19:00～
1月	18日	移動例会　「I.M」	14:30～
		「I.M」インターシティーミィーティング ・場　所　ベルアージュ　・タイムスケジュール	
		受付　14:00～　開会　14:30～　懇親会　15:30～　＊集合時間は後日お知らせいたします。	
1月	18日	I.Mへ振替の為	
1月	23日	休会　1月31日（金）へ振替の為	
1月	30日	休会	
1月	31日	移動例会「米山奨学生との交流会」　場所　筑波大学　大学会館レストランプラザ	18:30～

つくばオールロータリアンＦａｃｅｂｏｏｋ同好会は、つくばの3クラブのロータリアンとローターアクト、インターアクトの情報などをＦａｃｅｂｏｏｋ上で共有しています。皆様、ぜひご活用ください。
（つくば学園・つくばシティ・つくばサンライズ・ローターアクト）

4つのテスト

1．真実かどうか
2．みんなに公平か
3．好意と友情を深めるか
4．みんなのためになるかどうか

編集後記　クラブ会報・広報委員長：篠崎忠志

平成25年も残り後、数日になってしまいました。本当に月日の過ぎるのは早いものですが、この会報はやっと折り返しを迎えたと言う感じです。録音したレコーダーから原稿をお越し、写真を選び、レイアウトして内容をチェックする。まとめるのに精いっぱいで、悪戦苦闘の連続でした。迎える新しい年も引き続き宜しくお願い致します。会員の皆様、どうぞ行く年、来る年お元気でお過ごしください。

友好クラブ

京都山城ロータリークラブ（第2650地区）

つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047 茨城県つくば市千現２丁目１番６
つくば研究支援センターＡ２８
電話　029-858-0100　FAX　029-858-0101
Email　：　gakuenrc@46gama.com

例会日　木曜日　12:30～13:30
例会場　「オークラフロンティアホテルつくば」
つくば市吾妻1丁目1364－1

ホームページもご覧下さい
http://www.46gama.com/